

製品安全データシート

SDS番号: P011MS

作成日: 2014/5/23

更新日: 2024/8/23

1. 製品及び会社情報

製品名	Buffer Kit
製品コード	P-011
提供者	
社名	プロテノバ株式会社
住所	香川県東かがわ市西村1488番地1
電話番号	0879-49-0702
FAX番号	0879-49-0703

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	GHS 分類基準に該当しない
危険性	通常の手扱いは、危険性は低い。
有害性	有害ではない。
環境影響	データなし

3. 組成、成分情報

単一物・混合物の区別 混合物

キットの構成

構成成分	内容量	化学式	CAS番号	官報公示 整理番号	濃度 (W/V)
1) Binding Buffer (PBS, pH 7.5±0.1)	200 mL				
塩化ナトリウム		NaCl	7647-14-5	1-236	0.80%
塩化カリウム		KCl	7447-40-7	1-228	0.02%
リン酸水素二ナトリウム		Na ₂ HPO ₄	10039-32-4	1-497	0.30%
リン酸二水素カリウム		KH ₂ PO ₄	7778-77-0	1-452	0.02%
2) Elution Buffer (0.1 M Glycine-HCl, pH 2.8)	30 mL				
グリシン		C ₂ H ₅ NO ₂	56-40-6	9-77	0.75%
塩酸		HCl	7647-01-0	1-215	0.10% 未満
3) Neutralization Buffer (1 M Tris)	1 mL				
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン		C ₄ H ₁₁ NO ₃	77-86-1	2-318	12.11%

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の刺激が持続する場合は医師の手当てを受ける。
皮膚に接触した場合	直ちに汚染した衣服を脱ぎ、触れた部分を多量の水と石鹼で洗い流す。皮膚に炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、毛布等で保温のうえ、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水を飲ませて吐かせる。気分が悪いときは医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	火元の燃焼源を断ち、適切な消火剤を用いて消火する。 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。容器が火炎につつまれた場合、爆発の恐れがあるので近付かない。
消火剤	水、粉末、炭酸ガス、乾燥砂

6. 漏出時の措置

除去方法	危険性がなければ漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。漏出物は水で希釈して拭き取り、適切な廃棄容器に回収する。その際は保護具を着用して作業する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。 廃棄に関してはセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。使用後は容器を密閉する。 換気が十分な場所でのみ使用し、換気が不十分な場合には適切な呼吸用保護具を着用する。取扱い後は手洗い、洗顔を十分に行う。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた代替容器に入れ、密栓して保存する。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
保管	直射日光を避け、冷蔵庫(4-8°C)に密閉して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない。

設備対策	屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設ける。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	実験衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	液体
臭気	無臭
色	無色
引火点	データなし
発火点	データなし
可燃性	データなし
自己反応性・爆発性	データなし
溶解性	水に容易に溶解する。

10. 安定性及び反応性

発火性	データなし
爆発範囲	データなし
安定性・反応性	データなし
避けるべき条件	データなし

11. 有害性情報

皮膚腐食性	データなし
刺激性(皮膚、眼)	(Binding Buffer, Elution Buffer)わずかに刺激するおそれがある。
感作性	データなし
急性毒性	経口:(Elution Buffer)口腔、咽頭、食道、胃腸粘膜を刺激する。 吸入、経皮:データなし
慢性毒性	データなし
がん原性	データなし
変異原性	データなし
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
その他	なし

12. 環境影響情報

生物分解性	データなし
蓄積性	データなし
魚毒性	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。 若しくは、許可を得た産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
------	---

14. 輸送上の注意

輸送上の注意	特になし
--------	------

15. 適用法令

消防法	該当せず
毒物及び劇物取締法	該当せず
労働安全衛生法	該当せず
船舶安全法	該当せず
航空法	該当せず
海洋汚染防止法	該当せず
PRTR法	該当せず

16. その他の情報

引用文献	「EzPBS(-)」(アトー株式会社)の製品安全データシート SDS No.A0037を参照。 「Buffer solution (glycine/sodium chloride/hydrogen chloride), traceable to SRM fromNIST and PTB pH 1.00 (25°C) CertiPUR」(メルク株式会社)の製品安全データシートを参照。
------	---

化学物質総合情報提供システム <http://www.safe.nite.go.jp> (独立行政法人 製品評価技術基盤機構ホームページ内)を参照。

注意事項	危険有害性の評価は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関して保証するものではありません。全ての化学製品には未知の危険有害性がありえるため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
------	---